

平成23年度第1回 八王子市市史編集委員会

日 時：平成23年8月7日（日）

午前10時から12時まで

場 所：生涯学習センター第7学習室

【報告事項】

1. 専門部会の活動状況について

資料1 市史編集専門部会調査活動報告

2. 『八王子市史研究』について

資料2-1 『八王子市史研究』創刊号の販売状況等について

資料2-2 『八王子市史研究』第2号の概要について

3. 市史編さん審議会答申について

資料3-1 八王子市市史編さん審議会答申

資料3-2 八王子市市史編さん審議会委員名簿（第2期）

4. 平成22年度事業実績及び23年度事業計画について

資料4-1 平成22年度市史編さん室事業実績概要

資料4-2 平成23年度市史編さん室の年間事業計画

資料4-3 平成23年度市史編さん室予算の概要について

資料4-4 平成23年度市史編さん事業スケジュール（案）

5. 市史編集専門部会設置要綱の改正について

資料5 八王子市市史編集専門部会設置要綱の改正について

【協議事項】

6. 市史編さん基本構想 刊行計画変更案について

資料6 刊行計画変更案

7. 『新八王子市史』刊行実施要領案について

資料7 『新八王子市史』刊行実施要領（案）

（裏面へ続く）

【協議事項（続き）】

8. 『資料編 原始・古代』の刊行について

- 資料8-1 『資料編 原始・古代』仕様・構成案
- 資料8-2 『資料編 原始・古代』ページ見本
- 資料8-3 『資料編 原始・古代』編集スケジュール

9. 『資料編 近現代1』の刊行について

- 資料9-1 『資料編 近現代1』仕様・構成案
- 資料9-2 『資料編 近現代1』ページ見本
- 資料9-3 『資料編 近現代1』編集スケジュール

【確認事項】

10. 近世部会『村明細帳集成』刊行について

- 資料10-1 『村明細帳集成』仕様・構成案
- 資料10-2 『村明細帳集成』ページ見本
- 資料10-3 『村明細帳集成』編集スケジュール

11. 民俗部会『恩方地区民俗調査報告書』刊行について

- 資料11-1 『恩方地区民俗調査報告書』仕様・構成案
- 資料11-2 『恩方地区民俗調査報告書』編集スケジュール

12. その他

市史編集専門部会調査活動報告

(平成 23 年 1 月～7 月分)

部 会 名	平成 23 年度 第 1 回 原始・古代 部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 4 月 15 日（金） 午前・ 午後 6 時 30 分～ 午前・ 午後 9 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟 及川良彦 竹花美保 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 横田深雪 黒田智章 【事務局】佐藤広 新井雅人 長谷部晃一 馬場有美	

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）

1. ボーリング調査結果報告

武蔵文化財研究所の新里氏、パリノ・サーヴェイの辻元氏に出席いただき、辻元氏よりボーリング調査の分析結果について報告をいただいた。

2. 資料編原稿執筆状況報告

原始・古代資料編の遺跡解説原稿の執筆状況について、部会委員、専門調査員から報告。

大栗川流域の縄文時代、10 遺跡の執筆を東京都埋蔵文化財センターに依頼した。

変更点：NTNo.108 は掲載しない。

3. その他

①国指定・都指定・市指定の遺跡、遺物については、何等かの形で表記する。

案：巻末「保存公開遺跡の案内」の後に、一覧表を掲載する。

②用語解説は、八戸市史のような写真・図版を多用するスタイルではなく、仙台市史や原町市史のような項目の用語解説のスタイルをとる。まず、項目案を作成する。

③関部会長より「コラム（案）」の報告。400～800 字で図版、写真も用いながら掲載する。ほかに候補があれば次回会議で挙げ、執筆担当も決定したい。

④資料編に掲載する写真・図版の指定がある場合の指定方法について確認。カードを遺跡ごとに作成し、事務局へ提出する。

⑤事前に部会構成員に確認をお願いしていた服部専門調査員担当「時代区分」「流域設定」の原稿内容について議論。各自修正を入れて、事務局へ郵送する。

⑥次回の部会会議は 5 月 16 日～5 月 27 日で日程調整を行う。

【配付資料】

1. 八王子市史編さんに係るボーリング及び土壌分析調査等業務委託報告 平成 23 年 2 月 23 日
2. 八王子市史編さんに係るボーリング及び土壌分析調査等業務委託報告（説明資料）
平成 23 年 4 月 15 日 辻元氏より
3. 八王子市史 原始・古代資料編 資料編の執筆分担（案）
4. 写真・図版の指定方法について
5. 資料編 コラム（案） 関部会長より

部 会 名	平成 23 年度 第 2 回 原始・古代 部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 5 月 20 日（金） 午前・ 午後 6 時 30 分～ 午前・ 午後 8 時 40 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟 及川良彦 竹花美保 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 横田深雪 黒田智章 【事務局】木内基容子 新井雅人 長谷部晃一 松田明彦 馬場有美	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
1. 資料編原稿執筆状況報告 原始・古代資料編の遺跡解説原稿の執筆状況と変更点について、部会委員、専門調査員から報告。 弥生 16 宇津木向原 → 宇津木向原・尾崎 57 中郷 → 中郷・船田 90 南八王子 No.11 → 南八王子 No.11・No.12 郷田原 92 館町 No.515 → 館町第 6 地点の表記の方が良いか検討 93 平塚 → ランク C から B に変更の可能性あり 96 小比企向原 → 小比企向原・滑坂 97 南八王子 No.10・11・24 → 削除 148 多摩 N T No.197 → 削除 古墳 145 下根古墳、146 日向古墳は服部専門調査員に執筆をお願いする 147 多摩 N T No.328・951 はほぼ町田市なので原稿は提出したが削除か検討 梅坪・沖の前、滝山高燥は掲載しなくてもよいのか → 掲載なし 宇津木向原の古墳は掲載なしでよいか → 16 宇津木向原で触れる 奈良・平安 101 南八王子 No.38・42 → No.42 はタイトルから削除、写真は必要 158 多摩 N T No.388・389・431 → 多摩 N T No.387・388・389 103 の後に、時田遺跡、下寺田西遺跡、日南田遺跡を追加する その他 67 弁天池は弁天池北に変更か 考古学史（研究史）はどのようにとりまとめるか 参考文献に掲載するのは、八王子の遺跡を取り上げた報告書とする。		

2. コラムの内容について

前回会議にて配布された関部会長の提案より検討

②ボーリング調査 → ボーリング調査と古環境

④石器の種類と呼称 → 石器の作り方

⑦土器の編年 → 土器の時間、竪穴建物の時間

その他の内容

古代の履物：わらじ 土器の作り方 井上コレクション

「④石器の種類と呼称」は用語解説に「石器」の項目を作成

以上のような意見が上がるが、まだ検討が必要。内容を取りまとめ執筆分担を決定する。

3. 用語解説について

一般的に使用されている項目を挙げる。他市史以外に項目あげの素材として活かせる文献があれば、事務局へ提出する。

4. 今後のスケジュール・締切日の確認

まだ提出のされていない原稿 5月31日（火）

○必ず使用したい写真の指示は5月31日（火）までに提出がない場合は、事務局が選定した写真とする。

○多摩ニュータウン遺跡と東京都埋蔵文化財センターの発行している報告書については、全ての掲載写真の指示を、執筆者自身が行う。

5. その他

①国指定・都指定・市指定の遺跡、遺物の表記案を検討。（例：巻末「保存公開遺跡の案内」の後に、一覧表を掲載する。各遺跡紹介ページに表記する。）

②資料編のページ割り付けや写真図版の選定などを行う編集チームの編成について承認された。及川委員、深澤委員、服部専門調査員、黒田専門調査員、横田専門調査員に依頼する。

③次回の部会会議は6月上旬で日程調整を行う。

【配付資料】

資料1 原始・古代資料編編集作業進捗状況確認表

資料2 資料編 コラム（案） 【前回の会議にて関部会長より配布】

資料3 コラム案「土器の時間、住居（竪穴建物）の時間」

「小規模集落の普遍性」 【黒尾和久委員よりコラムの提案】

資料4 八王子市史 原始・古代資料編刊行までのスケジュール（案）

資料5 原始・古代資料編の対象となる国・都・市指定文化財

部 会 名	平成 23 年度 第 3 回 原始・古代 部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 6 月 1 6 日（木） 午前・ 午後 6 時 30 分～ 午前・ 午後 8 時 20 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟 及川良彦 黒尾和久 竹花美保 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 横田深雪 紺野英二 黒田智章 【事務局】木内基容子 新井雅人 長谷部晃一 松田明彦 馬場有美	

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）

1. 資料編原稿提出状況及び写真撮影状況について

提出状況の確認と未提出分の今後のスケジュール確認を行う。

原稿最終締め切り 6 月 24 日

多摩ニュータウン遺跡写真指定 6 月 24 日

図版作成・修正最終締め切り 6 月 30 日

変更点：145 下根古墳、146 日向古墳は削除とする。

2. コラムについて

ページ割り付けが済んでいないため、コラムの本数が確定できない。コラムの本数、内容決定、執筆を8月の1か月間で進める。

3. 用語解説について

高校生が読んでもわかる内容とする。作成方法の確認。事務局が項目挙げを行い、部会委員が項目のランク付けをして、掲載内容を決定する。

4. その他

①割り付け見本を提示、紙面の大きさを確認。写真の掲載順を検討。

②ページ数の調整については、編集チームが執筆者と相談することとする。

【配付資料】

1. 原始・古代資料編編集作業進捗状況確認表

部 会 名	平成 22 年度中世部会 第 3 回資料調査	開催（実施）日時 平成 23 年 1 月 23 日（日） 午後 1 時から 4 時まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 櫻井 彦 加藤 哲 徳永裕之 【事務局】柳沢 誠	

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）

【内 容】

青梅市郷土博物館所蔵並木家文書（6 点）の調査を実施した。筆跡・印章・法量・紙質等の確認を行ない、カードに記録した。デジタルカメラで撮影した。

1. 寅（天正 6 年、1578）10 月 25 日「北条氏照印判状」（川上権左衛門尉かた宛、印文未詳印） 紙の納入に関して、品質の改善を命じる文書。

2. 寅（天正 6 年）10 月 26 日「北条氏照印判状」（並木弥六郎殿宛、印文未詳印）大石信濃守と同道して滝山を出立し、小山へ到着するよう命じた文書。

3. 巳（天正 9 年）2 月 9 日「北条氏照印判状」（並木殿宛、印文未詳印）小山番について 3 か条の条目を定めた文書。

4. 未（天正 11 年）5 月 25 日「北条氏照印判状」（並木弥七郎殿宛、印文未詳印）火急の出陣につき軍法どおり支度するよう命じた文書。

5. 未（天正 11 年）5 月 25 日「北条氏照印判状」（新田孫七郎殿宛、印文未詳印）新田孫七郎に対して、火急の出陣につき軍法どおり支度するよう命じた文書。

6. 申（天正 12 年）2 月 12 日「北条氏照印判状」（荒田宮内殿宛、印文未詳印）改年の御出馬にあたり、武具等の支度を命じた文書。

※『所沢市史』中世史料（1981 年）、『戦国遺文』後北条氏編を参考に作成。

【配布資料】

『所沢市史』中世史料、『戦国遺文』後北条氏編 3 巻（東京堂出版、1990 年）、4 巻（1992 年）

部 会 名	平成 22 年度中世部会 第 4 回資料調査	開催（実施）日時 平成 23 年 2 月 22 日（火） 午前・ 午後 2 時 から 午前・ 午後 4 時 まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 櫻井 彦 徳永裕之 【事務局】 佐藤 広 長谷部晃一 渡部恵一 柳沢 誠	

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）

【内 容】

西寺方町宝生寺文書の調査

1. 北條氏照判物（永禄 10 年（1567）霜月 12 日）

2. 木村一・前田利長連署禁制（天正 18 年（1590）6 月 24 日）

3. 信康判物（寅 11 月 12 日）

ほか 5 点の筆跡確認・採寸・撮影。

【配布資料一覧】

『戦国遺文』後北条氏編、『新編武州古文書』他、該当文書の活字版資料

部 会 名	平成 22 年度中世部会 第 5 回資料調査	開催（実施）日時 平成 23 年 2 月 27 日（日） 午前・ 午後 2 時 から 午前・ 午後 4 時 まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 櫻井 彦 徳永裕之 【事務局】 佐藤 広 長谷部晃一 渡部恵一 柳沢 誠	
概要 （末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 【内 容】 元八王子町 3 丁目宗関寺文書の調査 1. 自家訓訳之書（天正 16 年（1588）9 月吉日） 2. （ト山手書）（永禄 11 年（1568）中夏 11 日） 3. 永禄皇帝綸旨 氏照公禁制文 華嚴菩薩傳記 佛國禪師遺誠（豎帳）（承応元年（1652）10 月 26 日） ほか 25 点の写真撮影（一部採寸・筆跡確認）。 上記のほかに近世～近代の文書 1 箱を借用した。市史編さん室にて整理中。 ※近世部会北村厚介専門調査員が同行した。 【配布資料一覧】 『新編武州古文書』他、該当文書の活字資料、『新編武蔵国風土記稿』多摩郡（文献出版）元八王子村の部分		

部 会 名	平成 22 年度中世部会 第 6 回資料調査	開催（実施）日時 平成 23 年 3 月 5 日（土） 午前・午後 10 時 から 午前・午後 4 時 まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会委員 櫻井 彦 徳永裕之 調査員 鈴木啓太 【事務局】 長谷部晃一 渡部恵一 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 【内 容】 初沢町高乗寺文書の調査（補充調査） 1．北条家印判状（弘治 3 年（1557）11 月 27 日）、大久保長安代官連署状ほか 4 点の戦国期～近世初期の文書の調査（筆跡確認等）と撮影 ※近世部会との合同調査。 2．初沢川上流の実踏調査（小屋場、堂が尾根等） 【配布資料一覧】 『新編武州古文書』他、該当文書の活字資料、『新編武蔵国風土記稿』多摩郡（文献出版）の関係箇所		

部 会 名	平成 22 年度中世部会 第 1 回部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 4 月 16 日（土） 午前・ 午後 2 時 から 午前・ 午後 6 時 まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 【事務局】 木内基容子 佐藤 広 新井雅人 長谷部晃一 渡部恵一 松田明彦 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 【内 容】 1. 平成 22 年度までの調査進行状況について 2. 平成 23 年度の調査方針・予定および夏季集中調査について 3. 資料編の資料掲載方法（体裁）について 4. 研究報告 「八王子市と長井氏について」（徳永委員） 【配布資料一覧】 1. 部会会議資料 2. 中世部会活動に関して（徳永委員） 3. 主要中世遺跡一覧（重要度・ページ数仕分） 4. 中世石塔所在確認調査報告書（本間専門調査員） 5. 平成 22 年度調査対象資料一覧 6. 文書群別資料収集総合データ（表）		

部 会 名	平成 22 年度中世部会 第 1 回実踏調査	開催（実施）日時 平成 23 年 5 月 15 日（日） 午前・ 午後 1 時 から 午前・ 午後 5 時 まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 専門調査員 原 美鈴 調査員 高島良太 渡邊浩貴 【事務局】 長谷部晃一 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 【内 容】 1. 八王子城跡居館地区（御主殿）、根小屋地区、御霊谷地区の実踏調査 解説 金子征史氏（八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課主査） 新藤康夫氏（八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課主任） 2. 元八王子町 3 丁目から四谷町付近までの高尾街道沿いの景観・寺社の実踏調査 【配布資料一覧】 平成 23 年度第 1 回実踏調査資料		

部 会 名	平成 22 年度中世部会 第 1 回資料調査	開催（実施）日時 平成 23 年 6 月 26 日（日） 午前・ 午後 1 時 30 分 から 午前・ 午後 4 時 30 分 まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 【事務局】 木内基容子 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 【内 容】 府中市郷土の森博物館にて八王子市域関係の中世文書 4 点（筆跡確認・採寸）、ほか府中市域関係中世資料 2 点の調査 【配布資料一覧】 平成 23 年度第 1 回資料調査資料		

部 会 名	平成 23 年度近世部会 第 1 回会議	開催（実施）日時 平成 23 年 4 月 17 日（日） 午前・ 午後 1 時 30 分～ 午前・ 午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	藤田 覚	専門員氏名 大木悠佑
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 藤田覚 部会委員 神立孝一 岩橋清美 白石烈 山崎圭 専門調査員 長田直子 鈴木直樹 北村厚介 【事務局】木内 新井雅人 長谷部晃一 渡部恵一 大木悠佑	

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）

1. 作業進捗状況の報告（事務局より）

(1) 所在調査・資料整理状況等

- ・借用整理中 10 軒（由木地区 1 軒 恩方地区 2 軒 川口地区 2 軒 加住地区 1 軒 ）
- ・前回部会会議以後、資料整理完了（横山地区 1 軒 加住地区 1 軒 元八王子地区 1 軒）
- ・市外資料調査 1 件（上田市立博物館にて八王子と関係のある養蚕関係資料を調査）

(2) 平成 22 年度マイクロフィルム化により利用可能な資料

- ・14 軒

(3) 他自治体史における八王子関連資料の抽出作業

- ・作業状況・成果の報告

該当箇所の複製が無い箇所については早急に取り揃える

(4) 宗門人別帳

- ・作業状況の報告 市内宗門人別帳 508 点

内 144 点終了 117 点データ分析中 37 点入力中

(5) 村明細帳

- ・資料集に掲載する資料 89 点の翻刻終了

(6) 資料編掲載候補の資料筆耕

- ・前回部会会議以降 137 点（1102 枚）
- ・全点数・枚数 432 点（2818 枚）

2. 資料編目次の項目について

(1) 資料編の分担、担当者の決定

- ・各章（第 1 章から第 8 章まで）の資料編作業担当者を決定

・(2) 資料編掲載候補資料の抽出作業及び筆耕作業の流れについて

- ・各資料群担当者より資料抽出後、市史編さん室へ連絡。

それを受けて筆耕を行う。筆耕済み資料は資料編章担当者へ振分をして送付

3. 部会委員等より作業状況の報告

4. その他

- ・近世部会の年間スケジュール
- ・次回部会会議の日時について

【配布資料一覧】

1. 平成 23 年度第一回近世部会会議次第
2. 事務局報告資料 (所在調査、資料整理)
3. 平成 23 年度 4 月時点での近世部会構成員一覧
4. 上田市立博物館資料調査 佐藤嘉三郎家文書写真撮影リスト
5. 前回部会会議 (平成 23 年 1 月 28 日) よりの筆耕資料一覧
6. 村明細帳資料集 (仮) 収載予定資料一覧
7. 資料編とりまとめ担当者案
8. 資料抽出作業ならびに資料当てはめ作業工程表案
9. 八王子市内資料一覧
10. 宗門人別帳データ化作業進捗状況

部 会 名	平成 23 年度近世部会 第 2 回会議	開催（実施）日時 平成 23 年 5 月 29 日（日） 午前・午後 1 時 30 分～ 午前・午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	藤田 覚	専門員氏名 大木悠佑
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 藤田覚 部会委員 神立孝一 岩橋清美 白石烈 山崎圭 【事務局】木内基容子 新井雅人 長谷部晃一 渡部恵一 大木悠佑	

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）

1. 報告事項 (事務局よりの進捗状況について)

(1) 所在調査・資料整理状況等

- ・借用整理中 6 軒 (由木地区 1 軒 恩方地区 3 軒 川口地区 1 軒 加住地区 1 軒)
- ・借用資料整理完了 11 軒 (由木 6 軒 横山地区 1 軒 川口地区 1 軒 加住地区 3 軒)
- ・マイクロフィルム等利用可能資料 22 軒 (由木地区 6 軒 由井地区 1 軒 横山地区 2 軒 恩方地区 1 軒 川口地区 3 軒 小宮地区 3 軒 旧市内 1 軒 元八王子地区 1 軒)

(2) 筆耕資料・筆耕候補抽出作業等

- ・平成 23 年 5 月 29 日時点での筆耕点数・枚数 約 480 点・2800 枚

2. 確認事項

(1) 資料編 1 刊行までのスケジュール

- ・平成 24 年度刊行に向けた部会会議等スケジュールの検討
平成 24 年 6 月を目途に入稿する必要がある
→校訂作業を 3 回ぐらいは必要 (原資料と 2 回、素読み 1 回) なため、その時間を確保する必要がある。

(2) 村明細帳の構成、作業スケジュール等について

- ・村明細帳の構成、序文、解説などの執筆担当者の決定
序文→部会長、解説→光石元委員、あとがき→光石元委員
- ・校訂作業担当者などの選定が課題
- ・ページ数が多いことが課題。分冊とするか、分量を減らすかは検討課題。

3. 検討事項

(1) (章立て以前に筆耕した) 資料編掲載候補資料の章振り分け作業

- ・前年度以前に筆耕した資料の章振分けの作業担当者決定

(2) 部会担当以外の資料群よりの資料抽出作業について

・資料抽出作業の作業担当者の決定

4. 作業の進捗状況について (部会委員等より報告)

- (1) 筆耕資料候補の抽出作業
- (2) 担当章の進捗状況について

※資料編の書式スタイルについて問題提起

・資料表題、所蔵者の記載方法、注記のポイント数など

5. その他連絡事項

次回部会会議日程 (7 月 23 日)

【配布資料一覧】

資料 1	進捗状況報告
資料 2	表：資料抽出 (筆耕候補) 一覧
資料 3	資料編 1 刊行までのスケジュール
資料 4	村明細帳刊行までのスケジュール
資料 5	表：家別 筆耕済資料点数一覧
資料 6	資料編 1 刊行時に利用可能な資料群一覧
資料 7	資料編 1 第 1 章掲載資料候補一覧表
※その他	部会委員作業進捗状況レジュメ

部 会 名	近現代部会 平成 23 年度第 1 回部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 5 月 19 日（日） 午前・ 午後 1 時 30 分～ 午前・ 午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	新井 勝紘	専門員氏名 宮崎 翔一
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 新井勝紘 部会委員 梅田定宏 齊藤勉 前田成東 源川真希 専門調査員 金子淳 杉山弘 保坂一房 増沢航 中村元 山口悠 姜雪潔 畔上直樹 沖川伸夫 【事務局】 木内基容子 新井雅人 渡部恵一 松田明彦 宮崎翔一	

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）

1. 報告事項

（1）近現代部会の現在の活動

（2）資料編 1 の筆耕状況

事務局より現在の刊行計画および筆耕状況について説明。

2. 検討事項

（1）資料編 1 選定作業の検討

- 資料タイトルは、基本的に部会委員がつけるが、状況によっては、専門調査員に仮タイトルをつけてもらいそれを赤入れ。
- 章構成案を 5 月中に提示し、資料選択および章構成は、6 月中に確定する
- 資料解説は 6 月中に執筆し、事務局に提出する。

（2）資料編 2 関係の活動

『八王子市史』刊行編集体制の構築－資料編 1・2 本編 1・2 の刊行に向けて

- 事務局と専門調査員で構成される刊行編集体制を構築（編集経験者に協力）
- 事務局（松田・宮崎）・杉山・増沢・中村専門調査員で構成する体制をつくる。
- 刊行スケジュールおよび編集に関して、編集員に一任する。
- 刊行スケジュールに沿って活動し、決定事項等は、部会会議で報告する。
 - 資料編 1 に関しては、凡例・レイアウトを作成し、部会会議で確認をとる。

（3）時代ごとに課題や問題を検討するチーム編成案【別紙 7】

- チームは、それぞれ「明治前期チーム」「明治後半から昭和初期チーム（都市部）」「明治後半から昭和初期チーム（農村部）」「戦中戦後期チーム（1937～1955）」「現代チーム」の 5 つとする。
- 部会委員をリーダーとし、構成検討案をたたき台に検討するチームをつくる。
- 連絡先の共有に関しては、事務局より構成員全員の了解を得た上で行う。

- ・チーム内でメールを行う場合、事務局にも「CC：」の形で必ず連絡すること。
- ・チーム編成は、あくまで固定ではなく、部会委員の判断でまたぐことは可能。
- ・サポートメンバーのアンケートを参照し、編成メンバーに入ってもらうことは可能。
- ・定期的に研究会を開く。研究会で上がった内容は、部会委員で構成される部会会議で書面の形で報告すること。
- ・研究会の日時及び場所は、部会委員の判断にゆだねる。部会委員が多忙の場合は、部会委員から特定のメンバーに委ねることができる。日時は、必ず事務局に連絡すること。

配布資料一覧

- 資料1 「八王子市史編集専門部会 近現代部会 構成員一覧（H23.5.15 現在）」
- 資料2 「平成23年度 八王子市市史編集専門部会 近現代部会 構成員一覧（H23.5.15 現在）」
- 資料3 「部会会議承認議題」
- 別紙1 「近現代部会予定概要」
- 別紙2 「近現代資料編の構成」
- 別紙3 「八王子市史編集専門部会 近現代部会 平成22年度～24年度計画（案）」
- 別紙4 「構成検討案 資料編2・本編1・2 新井勝紘 部会長案」
- 別紙5 「専門調査員（執筆予定者・サポートメンバー）アンケート結果」
- 別紙6 「八王子市市史編集専門部会 近現代史部会チーム編成案（新井勝紘 部会長）」
- 参考1 「統計資料 『東京府統計書』（明治26年から明治43年）」
- 参考2 「女性関連の項目の提案」
- 参考3 「資料編1・筆耕資料リスト(筆耕数あり) 2011.5.15 現在」
- 参考4 「資料編1・目次案例」（源川部会委員分）」

部 会 名	近現代部会 平成 23 年度第 2 回部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 6 月 19 日（日） 午前・午後 1 時 30 分～ 午前・午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	新井 勝紘	専門員氏名 宮崎 翔一
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 新井勝紘 部会委員 梅田定宏 齊藤勉 前田成東 源川真希 【事務局】 木内基容子 新井雅人 渡部恵一 松田明彦 宮崎翔一	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 1. 検討事項－資料編 1 について 【別紙 平成 23 年度の八王子市史編集専門部会近現代部会 検討課題参照】 （1）資料編 1 の章構成および資料選択の確定について ・資料構成案の検討 →資料編 1 章構成（部会委員ごと） 【別紙 1 資料編 1 章構成案（部会委員ごと）参照】 ・佐藤正広部会委員より章構成案の整合性案の提示 【別紙 2 資料編 1 章構成案（佐藤部会委員による整合性案）参照】 ・一つの章ごとに筆耕枚数 120 枚をめどに削る作業 【資料 2 章構成別筆耕原稿 参照】【別紙 3 資料編 1 章構成別資料リスト】 【別紙 4 資料編 1 資料リスト】 →作業時間を 1 時間から 1 時間 30 分ほど設け、章ごとの資料を削る作業 削る資料には×を入れてもらい、事務局へ返却。 （2）資料編 1 の刊行スケジュール 【別紙 5 近現代部会資料編 1 編集活動予定表（6 月～9 月）参照】 2. 報告事項－時代別チーム研究会の途中経過報告について （1）戦中戦後復興期チーム（平成 23 年 6 月 5 日開催） ・齋藤勉部会委員より報告 （2）現代チーム（平成 23 年 6 月 11 日開催） ・前田成東部会委員より報告 （3）明治中期から昭和初期（都市部）チーム（平成 23 年 6 月 19 日開催） ・梅田定宏部会委員より報告 3. その他 『市史研究』第 2 号の執筆者について		

配布資料一覧

- 資料 1 「平成 23 年度の八王子市史編集専門部会近現代部会 検討課題」
- 資料 2 「章構成別筆耕原稿」
- 別紙 1 「資料編 1 章構成案（部会委員ごと）」
- 別紙 2 「資料編 1 章構成案（佐藤部会委員による整合性案）」
- 別紙 3 「資料編 1 原案と佐藤部会委員案の章別比較表」
- 別紙 4 「資料編 1 基本台帳（筆耕枚数など）」
- 別紙 5 「近現代部会 資料偏 1 編集スケジュール（6 月～9 月）」

部 会 名	平成 22 年度 第 2 回 自然部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 2 月 15 日（火） 午前・ 午後 2 時 00 分～ 午前・ 午後 4 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	畔上能力	専門員氏名 佐藤千枝
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 畔上能力 部会委員 菱山忠三郎 奥田重俊 新井二郎 須田孫七 岡崎弘幸 粕谷和夫 専門調査員 内野秀重 伊東憲正 調査員 小林健人 【事務局】佐藤広 長谷部晃一 佐藤千枝	

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）

1. 各分野ごとに、調査の進捗状況と課題などを報告

＜植物＞

自然友の会ほかボランティアを多数動員して、メッシュ調査（約90メッシュ）が順調に進んでいる。徐々にフロラが明らかになりつつある。
課題は、過去データの収集、標本作成と整理（畔上部会長より）

＜鳥類＞

この20年間のカワセミ会のデータを使用。20地区を定期カウントしている。
日野・八王子カワセミ会の会員が写真も順次撮影しており、執筆素材の8～9割方はP C内に用意出来ている。（粕谷委員より）

＜ほ乳類＞

だいぶ山地を踏査したが、成果が出ない。今後は丘陵東部にも入っていききたい。
写真がなかなか撮れないので、自動撮影カメラなどを利用していききたい。
今後は洞窟でのコウモリ調査、小学生への目撃アンケート調査を行う予定。
（岡崎委員より）

＜昆虫類＞

・標本採集についてはスペースがないので、よほどと思われるものをマウントしている。23年度も引き続き作成する予定。

・明治以降、28万点の昆虫データがカードの状態であるが、これを入力するかどうか。（ある程度の日数と費用がかかる）

・石神井の加藤昆虫研究所から資料が東大に寄贈されたが、この中に高尾のものがだいぶある。これらを本編に入れるか、資料編に入れるか・・・

・ギフチョウ、オオムラサキなどを題材にしたトピックス例を提示。
（須田委員、伊東専門調査員より）

2. 平成25年度刊行予定の「自然編」（本編）について

・どれ位まで資料として本編の掲載できるか。掲載できない分は報告書としてどの程度出せるか。

・フロラは調査報告書として出していきたい。

- ・鳥類も報告書にまとめたい。（データがたくさんある）
- ・鳥類については音声もあるため、CDにもまとめたい。
- ・地質については本来先に動いているべき。地形がどうあるかというデータがあって、生物の分析ができる。
- ・地質、気象の担当者を早急に打診すること。
（須田孫七委員より、地質執筆について推薦者あるとのこと）
- ・部会の中で編集委員を決め、会議を開いたらどうか。（ある程度全体が見えてから）
- ・章立て、人選、スケジュール等を事務局でたてる。
- ・詳細について（目録をつけるか？引用文献の目録は？地図をいれるかどうか・・・）
- ・写真について
 - 1.昆虫 多少借りないと足りない。
 - 2.鳥類 絶滅種は借りる。
 - 3.ほ乳類 八王子での撮影のみに限ると厳しい。近隣での撮影も可か？

3.その他

標本について／受け入れ態勢が整っていないので、納めにくい。また、分割できるものについては、大学等研究機関と市に分けて納めてはどうか。（貴重な資料のため）

【配布資料一覧】

「八王子市史 自然編（本編）目次案」

「自然部会メンバー一覧」

部 会 名	平成 22 年度 第 4 回 自然部会 植物分野打ち合わせ	開催（実施）日時 平成 23 年 2 月 15 日（火） 午前・ 午後 4 時 00 分～ 午前・ 午後 6 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	畔上能力	専門員氏名 佐藤千枝
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 畔上能力 部会委員 菱山忠三郎 奥田重俊 新井二郎 専門調査員 内野秀重 調査員 小林健人 【事務局】佐藤広 長谷部晃一 佐藤千枝	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
1. 植物メッシュ調査の進捗状況（調査データのまとめ） 事務局より実数リストにて全体の進捗状況を報告。 また、担当者それぞれに調査状況を報告。		
2. 分類群についての検討 取り扱いが混乱している分類群についての検討する。 原則として、今後は標本をとり持ち寄って鑑定してはどうか。		
3. 今後の調査等について ・巨木・天然記念物・市で指定しているものについては、本編で取り上げるべきである。 ・斜面、保護緑地、東京都の保全地域について、調査に入りたい。		
【配布資料一覧】 「メッシュ別 実数一覧リスト」 「全確認種和名リスト」 「植栽種除外候補リスト」 「要検討種リスト」 「メッシュ調査一覧表」 「メッシュ位置図（確認種数入り）」		

部 会 名	平成 22 年度 第 4 回 自然部会 植物分野打ち合わせ	開催（実施）日時 平成 23 年 5 月 11 日（水） 午前・ 午後 5 時 00 分～ 午前・ 午後 7 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	畔上能力	専門員氏名 佐藤千枝
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 畔上能力 部会委員 菱山忠三郎 奥田重俊 新井二郎 専門調査員 内野秀重 仙仁径 調査員 小林健人 【事務局】新井雅人 長谷部晃一 佐藤千枝	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
1. 旧・高尾自然科学博物館所蔵の植物標本リストを P C にて確認。 - データを公表する際は地名を多少省く。 - 正しいかどうかを確認すること。 - 学名アルファベット順（科名～最近の順番）に並べ替えるとわかりやすい。 （出来上がったら全員に配布する） - 未登録のものをいれる → 新しい標本、手持ちの標本をいれる → 少な目のもの、分布が離れているものを優先的に標本を作成する。 2. 今年度メッシュ調査の方向性について - 調査の薄いメッシュを確認。 - N o . 53 高倉、N o . 87 法政大、N o . 88 相武 C C は隣地と合併する。 - 中央大キャンパスの調査を大学に依頼中。農工大、拓殖大、創価大など調査に入りたい。 3. その他 “ 八王子 ” “ 高尾 ” の名の付いた種をピックアップして本編に載せたい。 “ 八王子で貴重とする植物について ” 今後討議する。メッシュ調査の際に注意する。 - 文献資料の活用について 標本の所在がはっきりしているリストを収集。 アセスメント資料を収集。 パルテノン多摩にある八王子の植物目録をプラスする。 - 写真撮影の意義 ～準標本となる。 1.標本目録 2.写真 3.目視 - メッシュ調査で歩いたルートを1：25,000地図に記しておくこと。		

【配布資料一覧】

※会議前に現時点でのメッシュデータを各担当委員に配布。

「メッシュ調査テーマ」

「八王子市産記載種リスト」

「八王子市フロラ参考資料及び目録リスト」

「文献記録に基づく未確認種リスト」

「再検討が必要な種リスト」

「メッシュ調査一覧表」

「メッシュ位置図（確認種数入り）」

「八王子市内の水生植物確認状況一覧」内野専門調査員より

「植物担当者会議に関するメモ」内野専門調査委より

「分類が難しい種の取り扱い」小林調査員より

部 会 名	平成 23 年度 第 1 回民俗部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 6 月 13 日（月） 午前 午後・10 時 00 分～ 午前・午後 12 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	小川直之	専門員氏名 松尾あずさ
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 小川直之 部会委員 津山正幹 加藤隆志 宮本八恵子 専門調査員 神かほり 大藪裕子 美甘由紀子 乾賢太郎 高久舞 【事務局】新井雅人 佐藤広 長谷部晃一 渡部恵一 松田明彦	

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。）

1. 恩方地区調査進捗状況の報告

（1）刊行等スケジュールの確認

①事務局などが原稿を読み込む「原稿検討」という段階を設ける。
→次回提出するスケジュールに、原稿検討の期間を盛り込むこととした。

②編集作業には部会構成員からもこれに携わる。
→神専門調査員の原稿提出後に事務局とで編集チームを作ることとした。

（2）調査・執筆の進捗状況報告

①配布資料をもとに、各構成員から調査・執筆状況についての報告あり。

②収集した資料について

・市史編さん調査で得られたデータは、各構成員が持つのか事務局で持つのか。
→構成員がいつでも確認できるよう事務局で保管・管理する。

・調査で撮影した写真には、多くに共同著作権があるものと考えるべき。

2. 市史研究の執筆者について

今年度は、美甘専門調査員が執筆を担当することとした。

3. その他 次回会議は 7 月 11 日（月）に開催する。

【配布資料一覧】

1. 平成 23 年度第 1 回民俗部会会議次第

2. 平成 23 年度 3 月 7 日部会会議資料 八王子市史恩方地区民俗誌刊行計画案

3. 八王子市史 恩方地区民俗調査報告書の体裁

4. 恩方地区調査報告 目次案、門倉幸庫家屋敷図（津山委員提出）

5. 八王子市史民俗部会資料（目次案）（宮本委員提出）

6. 八王子市史民俗調査レポート(2011/4/22)（宮本委員提出）

7. 八王子市史民俗調査レポート(2011/4/8-①)（宮本委員提出）

8. 八王子市史民俗調査レポート(2011/4/8-②) (宮本委員提出)
9. 八王子市史民俗調査レポート(2011/4/19-①) (宮本委員提出)
10. 八王子市史民俗調査レポート(2011/4/19-②) (宮本委員提出)
11. 八王子市史民俗調査レポート(2011/4/21-①) (宮本委員提出)
12. 尾崎妙太郎さんが語る醍醐谷の思い出 (宮本委員提出)
13. 尾崎妙太郎さんのフジヅル細工 (宮本委員提出)
14. 聞き取り調査報告書 (堀之内・小谷田昌弘氏ほか) (神専門調査員提出)
15. 聞き取り調査報告書 (小津町・青木貢氏ほか) (加藤委員提出)
16. 聞き取り調査報告書 (上恩方町・高井住和氏ほか) (美甘専門調査員提出)
17. 聞き取り調査報告書 (小津町・青木博氏ほか) (乾専門調査員提出)
18. 恩方地区の民俗芸能、口承文芸について (高久専門調査員提出)
19. 書評『相模原市史 民俗編』(相模原市史ノート第8号掲載) (神専門調査員提出)

部 会 名	平成 23 年度 第 2 回民俗部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 7 月 11 日（月） 午前 午後・10 時 00 分～ 午前・午後 12 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） ＜敬称略＞	小川直之	専門員氏名 松尾あずさ
出席者（参加者）氏名 ＜敬称略＞	部会長 小川直之 部会委員 小野寺節子 加藤隆志 宮本八恵子 専門調査員 神かほり 大藪裕子 美甘由紀子 乾賢太郎 高久舞 【事務局】木内基容子 佐藤広 渡部恵一 松田明彦	

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。）

1. 民俗調査報告書（恩方地区）について

（1）刊行等スケジュールの確認

①刊行スケジュールの確認 原稿締切＝8 月 15 日を厳守する。

②各構成員から分担箇所執筆分量の報告

→ページ数は 20 ページ程度増えると見込まれる。

③資料の掲載方針

・聞き書きは余り削らずなるべく多く掲載する。

・必要に応じ文献資料の復刻や再掲等も行う。

・個人情報やプライバシーの問題はあるが、自治体史として住民の顔が見えることが重要。

→支障のない範囲で、個人名も出していきたい。部会長及び事務局が、責任を持って
原稿内容を確認・検討する。

・恩方地区に限らず、市史編さん調査で得られたデータは事務局で保管・管理する。

・写真の使用にあたっては、共同著作権があるものと考えられるため、後日改めて協議する。

（2）調査・執筆の進捗状況報告

①執筆担当者から調査報告…宗教・社会組織・生産生業・衣食住・人生儀礼・祭礼
民俗芸能・口承文芸の各分野。

②恩方地区の民俗に関する文献の紹介…佐藤管理官より

2. 由木地区の民俗調査について

（1）調査開始に先立ちフィールドワークを実施、現在調査は養蚕関係の調査を進めている。

（2）由木の調査経験がある構成員と事務局から話者をリストアップし、構成員に報告する。

（3）個別の聞き書きを行う前に、8～9 月に合同調査を実施する。

→地域への関心が高い鑑水を候補地とし、事務局で開催準備を進めることとなった。

3. その他 次回会議は 10 月 17 日（月）に開催する。

【配布資料一覧】

- 20. 民俗部会平成23年度第2回会議次第
- 21. 調査・刊行等スケジュール
- 22. 市史民俗調査報告書（恩方地区）原稿予定分量申告報告
- 23. 桑都民俗の会調査・収集資料
- 24. 八王子市史・尾崎妙太郎さんの補足調査レポート(2011/6/16)（宮本委員提出）
- 25. 八王子市史民俗調査レポート(2011/6/19)（宮本委員提出）
- 26. 八王子市史民俗「暮らしの中の植物利用方法及び地方名・標準和名調査」（宮本委員提出）
- 27. フジザル作りと醍醐の昔の話（神専門調査員提出）
- 28. 由木・堀之内 養蚕調査（神専門調査員提出）
- 29. 三多摩郡仏堂明細帳、寺院明細帳・八王子市、神社明細帳・9・南多摩
（乾専門調査員提出）
- 30. 新編武蔵風土記稿巻之百四 多摩郡之十六・同十七（乾専門調査員提出）
- 31. 八王子市史 地区別民俗報告書の項目（案）（小野寺委員・高久専門調査員提出）

『八王子市史研究』創刊号の販売状況等について

1. 販売場所及び販売状況（7月25日現在）

販売場所	販売冊数
市役所本庁舎 1 階 市政資料室	67 冊
八王子駅南口総合事務所	85 冊
八王子市郷土資料館	35 冊
市史編さん室（郵送販売を含む）	176 冊
合 計	363 冊

2. 無償配付先

全国公的機関、市内関係機関等

市内大学、高等学校、市立小・中学校

姉妹都市及び海外友好都市

市史編さん関係者、資料寄贈者、調査協力者等 約 800 か所

配布冊数 約 900 冊

3. 閲覧可能施設（市内）

市政資料室

八王子市立図書館 4 館及び 1 分室

八王子市郷土資料館

八王子市議会図書室

地区図書室等（市民センター内に設置）

資料 2 - 2

『八王子市史研究』第2号の概要について

第2号担当編集委員：藤田覚委員長、新井勝紘副委員長、小川直之委員

平成23年度第1回市史研究編集会議（平成23年5月23日）にて決定

区 分	第 2 号概要	参考（創刊号概要）
1. 名称	『八王子市史研究』第 2 号	『八王子市史研究』創刊号
2. 部数	2, 0 0 0 部	2, 0 0 0 部
3. 規格		
(1) 大きさ	A 5 定形判	A 5 定形判
(2) ページ数	約160ページ	170ページ
(3) 段組	1 段（50字×20行） 2 段（25字×20行）の併用	1 段（50字×20行） 2 段（25字×20行）の併用
4. 掲載内容		
(1) 刊行に際して	掲載しない	「刊行に際して」3本 合計12ページ
(2) 特集	【大正一〇〇年】 趣旨説明文1本（1,000字） 論文3本（8,000字/1本） 資料紹介2本（4,000字/1本） 合計34ページ	【地方主権時代の歴史編さん】 論文3本 合計25ページ
(3) 論文等	論文3本（16,000字×3本） 資料紹介（8,000字×2本） 合計98ページ	論文4本 調査報告1本 資料紹介1本 合計91ページ
(4) 一般投稿	論文等2本（16,000字×2本） 合計32ページ	資料紹介 1 本 調査報告 1 本 合計17ページ
(5) 市史編さん 覚書	市史編さん基本構想、編集方針 市史編さん関係者名簿 市民講座の開催記録 市史編さん室日誌 合計14ページ	市史編さん基本構想、編集方針 市史編さん関係者名簿 市史編さん室日誌 合計12ページ

『八王子市史研究』第2号割付表

平成23年7月現在

No.	区 分	表 題	執筆予定者	字数	頁数	備考
1	口絵	口絵			2	
2	扉	扉			1	
3	目次	目次	事務局		2	
5	特集 「大正一〇〇年」	趣旨説明(特集「大正一〇〇年」を組むにあたって)	近現代 新井勝紘部会長	1,000	1	
6	特集 「大正一〇〇年」	大正デモクラシー期の八王子(仮)	近現代 梅田定宏委員	8,000	8	
7	特集 「大正一〇〇年」	交通網の発達と八王子の観光(仮)	近現代 山口悠専・調	8,000	8	
8	特集 「大正一〇〇年」	多摩陵の造営と八王子(仮)	近現代 保坂一房専・調	8,000	8	
9	特集 「大正一〇〇年」	(資料紹介) 友愛会八王子支部(仮)	近現代 新井勝紘部会長	4,000	4	
10	特集 「大正一〇〇年」	(資料紹介) 震災夜警諸費支払帳(仮)	事務局 渡部恵一	4,000	4	
11	論文等	☆中世部会	中世 徳永裕之委員	16,000	16	
12	論文等	☆近世部会	近世 北村厚介専・調	16,000	16	
13	論文等	☆自然部会	自然 須田孫七委員	16,000	16	
14	論文等	○投稿原稿	(公募)	16,000	16	
15	論文等	○投稿原稿	(公募)	16,000	16	
16	資料紹介	☆民俗部会	民俗 美甘由紀子専・調	8,000	8	
17	資料紹介	☆研究協力員 八王子に遺る金石文(仮)	齊藤経生研究協力員	8,000	8	
19	市史編さん覚書	市史編さん基本構想			4	
20	市史編さん覚書	市史編さん関係者名簿	事務局		2	
21	市史編さん覚書	市民講座等の開催記録	事務局(渡部)		4	
22	市史編さん覚書	市史編さん室日誌	事務局		2	
23	編集後記	編集に際して	編集委員会委員長		2	
24	奥付	奥付	事務局		1	
計					147	

『八王子市史研究』第2号 編集スケジュール(事務局案)

	第2号編集スケジュール	
5月		
	第1回編集会議(23日)	
6月	[市民投稿原稿]	[依頼原稿]
	15日:原稿募集通知(広報・HP等)	
7月		6日:執筆依頼
	29日:投稿申込み締切	
8月		
9月		
	20日:原稿提出締切(査読依頼)	
10月	査読	
		14日:原稿締切
	第2回編集会議(下旬)	
11月	編集作業開始	
	印刷業者契約	
12月	印刷業者へ入稿	
	校正	
1月		
	校了・印刷・製本	
2月		
	15日:刊行	
3月		

八王子市市史編さん審議会答申

「今後の八王子市史編さん事業推進の方策について」

1. 審議経過

日付	回数	審議内容
H22.12.20	22 年度第 1 回	市長から諮問 「今後の八王子市史編さん事業推進の方策について」 市史編さん事業の経過と現状について
H23.4.18	23 年度第 1 回	市史編集の進捗状況等について 今後の市史編さん事業推進の方策について
H23.5.16	23 年度第 2 回	今後の市史編さん事業推進の方策について
H23.6.6	23 年度第 3 回	今後の市史編さん事業推進の方策について
H23.6.22		市長へ答申

2. 答申の概要

(1) 事業進捗を踏まえた刊行計画の修正について

- ・多摩地区の中心として栄えてきた八王子市の市制 100 周年記念事業にふさわしい水準を備えた市史を編さんするため、各専門部会の作業実態を踏まえて着実に編集作業を進めることができるよう、平成 28 年度までの各編の刊行年度の一部を修正することが妥当。

(2) より市民に開かれた市史編さん事業を推進するために

- ・今後も市史編さん事業への幅広い市民の参加、市民協働の拡大を図ることを期待。
- ・事業の成果として、市民が手にとりやすく理解しやすい刊行物の刊行が重要。
- ・本編、資料編の完成後、年表編や総索引、市民が親しみやすいダイジェスト版の作成を期待。

(3) 今後の資料調査・研究等の進め方について

- ・市民共有の貴重な財産である原資料の保存と適切な管理が公共的に行われることが重要であり、事業の成果や収集した資料が事業終了後も適切に保存・管理されることを念頭に置いて、今後の資料調査・研究を進めるべき。

3. 周知

6 月 27 日 市ホームページに掲載

市政資料室、市立図書館へ配架

9 月（予定）市史編さんだより「稲荷山通信」第 8 号に記事を掲載

八王子市市史編さん審議会委員名簿（第2期）

no.	氏 名	所 属 等	選出区分	備考
1	池上裕子	成蹊大学文学部教授	学識経験者 (施行規則第2条第1号) 5人以内	再任
2	沼 謙吉	津久井町史編集委員会委員長		新任
3	前田成東	東海大学政治経済学部教授		再任
4	松尾正人	中央大学文学部教授		再任
5	光石知恵子	古文書を探る会副会長		再任
6	相原悦夫	八王子市文化財保護審議会会長	八王子市文化財保護審議会の委員（施行規則第2条第2号） 1人	再任
7	平塚美臣	八王子市町会自治会連合会	市民団体の代表 (施行規則第2条第3号) 1人以内	新任
8	内田純功	八王子商工会議所専務理事	商工業関連団体の代表 (施行規則第2条第4号) 1人以内	再任
9	小此木正貴		公募による市民 (施行規則第2条第5号) 2人以内	新任
10	渡邊秀雄			新任

（平成23年6月25日）

任期：平成23年6月25日から 平成26年6月24日まで

平成 22 年度 市史編さん室事業実績概要

1. 市史編集専門部会活動実績

部会	部会会議	部会調査	個別調査・研究	延べ活動人数
原始・古代	10 回	1 回	332 回	421 人
中世	4	14	306	392
近世	7	2	518	562
近現代	5		622	653
自然	2		314	329
民俗	5	2	107	168
計	33	19	2,199	2,525

2. 資料収集状況

古文書等	図書資料等
10,732 点	537 点

3. 古文書等筆耕（解読）状況

筆耕資料点数	筆耕実績枚数
599 点	4,513 枚

4. 刊行物発行状況

タイトル		発行月	発行部数	備 考
『八王子市史研究』創刊号		3 月	2,000 部	有償（500 円）
市史編さん室だより「稲荷山通信」	第 5 号	7 月	2,000	無償
	第 6 号	12 月	2,000	無償

※稲荷山通信第 6 号は平成 23 年度に 500 部増刷

5. マイクロフィルム作成状況

撮影資料	撮影コマ数
犬目町小野家文書 外 32 件	1,206,266 コマ

6.市史編さん室・生涯学習センター共催市民講座

講座名「八王子の江戸時代を探る」

内容	講師	開催日	会 場	受講人数
1.江戸幕府と地域社会	藤田 覚	10 月 29 日	生涯学習 センター	60 人
2.地域経済から見た歴史	神立孝一	11 月 5 日		59
3.天保の飢饉と八王子の村々	山崎 圭	11 月 12 日		57
4.新しい市史編さんの現在	藤田 覚	11 月 26 日		53

7.学園都市大学「いちょう塾」講座提供状況

開催日	種別	講座名	講師	受講人数
4 月 3 日	公開講座	多摩のサクラを楽しむ	菱山忠三郎	115 人
5 月 8 日	連続講座	1920 年代の八王子を探る	保坂一房	14 人
5 月 29 日	公開講座	多摩の医療史	沼 謙吉	55 人
6 月 21 日	連続講座	八王子の近世社寺建築と地方大工、彫物師	相原悦夫	30 人
9 月 4 日	公開講座	近世前期八王子の養蚕と織物	藤田 覚	64 人
1 月 17 日	連続講座	近世から現代までの八王子の変容を見よう	相原悦夫	18 人
2 月 19 日	公開講座	「長池公園の歴史とその植物多様性」 － 多摩丘陵の自然資源を考える －	内野秀重	101 人
計				397 人

8.市史編さん室顧問及び市史編さん研究協力員の配置

八王子を中心とした地域史研究において顕著な業績のある研究者から選任

市史編さん室顧問

任 期 平成23年1月20日から3年間

選任数 1名

市史編さん研究協力員

任 期 平成23年1月20日から2年間

選任数 15名

平成23年度 市史編さん室の年間事業計画

「八王子市史編さんの基本的な考え方―市史編さん基本構想―」及び「八王子市史編集方針」（平成21年12月決定）に基づき、市民の皆さん、研究者の方々と力を合わせて、市史編さん事業に取り組みます。

平成23年度は、

【八王子の新たな魅力を引き出す、市史編さん事業の推進】

を年間目標として、「市民協働」を軸に25年度からの「本編」刊行に向けた調査研究に精力的に取り組み、「資料編（原始・古代／近現代1）」を刊行します。

併せて、市史編さん事業を通じて得られた成果を『八王子市史研究』や調査報告書などの形に表して、市民の皆さんに提供します。

1 編さん事業の経営管理

「八王子市史編さんの基本的な考え方―市史編さん基本構想―」に基づく事業経営を、計画的に実行します。

- （1） 市史編さん事業運営状況の評価〈新規〉
- （2） 市史編さん審議会の開催〈継続〉
- （3） 市史編集委員会と市史編集専門部会会議の開催〈継続〉

2 資料の調査・研究・収集・整理・保存・管理

市史編集専門部会において、計画的な資料の調査・研究・収集・整理を行い、次世代に良好な状況で資料を伝え、活用できる環境を整えます。

- （1） 市史編集専門部会（原始・古代、中世、近世、近現代、自然、民俗の6つの専門部会）の運営〈継続〉
- （2） 歴史的価値のある公文書（行政文書）の収集・保存〈継続〉
- （3） 市史編さんや八王子に関する文献等の収集〈継続〉
- （4） 資料のマイクロフィルム撮影〈継続〉
- （5） 古文書保存箱での資料保存〈継続〉
- （6） 資料の燻蒸（殺虫処理など）〈継続〉

3 編さん事業や成果の普及・活用

事業の意義や進行状況、調査・研究の成果を市民の皆さんや関係者の方々に印刷物や講座の形で提供します。また、関連する市民団体、大学等との連携・協働を進めるとともに、庁内においても全庁的な連携協力体制を整備し、効果的に事業を実施します。

- （1） 「資料編（原始・古代）」「同（近現代1）」及び資料集・調査報告書等の発行〈新規〉
- （2） 『八王子市史研究』の発行・販売〈継続〉
- （3） 市民講座の開催及び八王子学園都市大学「いちょう塾」への講座企画提供〈継続〉
- （4） 「八王子市市史編さん室だより 稲荷山通信」の発行・配布〈継続〉
- （5） 市民ボランティアの事業参加の推進〈新規〉

平成 23 年度 市史編さん室予算の概要について

平成 23 年度市史編さん費 143,689 千円

(平成 22 年度予算額 170,019 千円 決算額 161,077 千円)

報酬 20,957 千円

共済費 2,625 千円

賃金 10,179 千円

報償費 36,579 千円

〈主な内容〉	専門部会活動謝礼	22,135,000 円
	古文書筆耕謝礼	2,700,000 円
	筆耕資料校訂謝礼	2,835,000 円
	写真撮影謝礼	1,000,000 円
	刊行物原稿執筆謝礼	6,801,000 円

旅費 1,200 千円

需用費 26,521 千円

〈主な内容〉	資料編「原始・古代」印刷製本費	12,952,000 円
	資料編「近現代 1」印刷製本費	5,694,000 円
	「村明細帳集成」印刷製本費	2,130,000 円
	「民俗調査報告書」印刷製本費	1,744,000 円
	「八王子市史研究」印刷製本費	986,000 円

役務費 518 千円

委託料 42,780 千円

〈主な内容〉	マイクロフィルム作成委託	42,000,000 円
	資料くん蒸委託	780,000 円

使用料及び賃借料 1,010 千円

工事請負費 1,275 千円

負担金補助及び交付金 45 千円

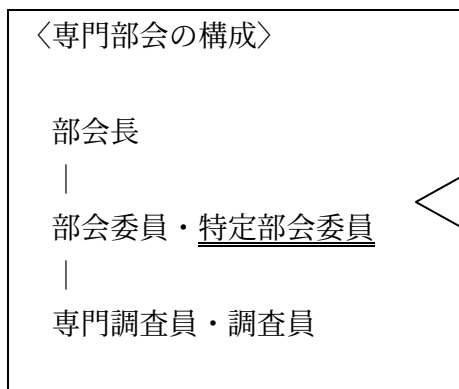
平成23年度 市史編さん事業スケジュール（案）

[illegible]

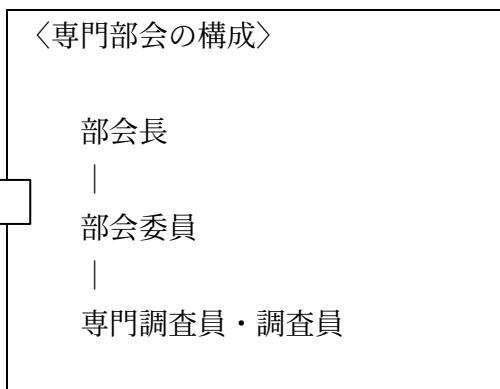
八王子市市史編集専門部会設置要綱の改正について

八王子市市史編集専門部会設置要綱第 2 条の規定を改正し、専門部会に新たな構成員として「特定部会委員」を置くことができることとする。

【改正後】



【改正前】



専門部会構成員の主な役割

- | | |
|---------------|---|
| 部会長 | 編さんに必要な資料収集、調査研究、編集、執筆等を行う。
部会の会務を総理し、部会を代表する。 |
| 部会委員 | 編さんに必要な資料収集、調査研究、編集、執筆等を行う。 |
| <u>特定部会委員</u> | <u>特定の分野における調査研究、執筆等を行う。</u> |
| 専門調査員 | 部会長、部会委員、特定部会委員の調査等を補佐する。 |
| 調査員 | 部会長、部会委員、特定部会委員の調査等を補佐する。 |

※ 特定部会委員は、基本的には刊行物の編集には携わず、特定分野の調査研究を行い、該当箇所を執筆する役割を担う。

特定部会委員に対する活動謝礼

日額 12,000円とする。

改正日

平成23年5月1日から改正する。

資料6

『新八王子市史』刊行計画変更案

内容		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
本編	1. 原始・古代	資料収集・調査・分析			→		○	◎		
	2. 中世		//		→			○	◎	
	3. 近世（上）		//		→			○		◎
	4. 近世（下）		//		→				○	◎
	5. 近現代（上）		//		→				○	
	6. 近現代（下）		//		→					○
	7. 自然		//		→		○			
	8. 民俗		//		→					○
資料編	9. 原始・古代		//	→	○					
	10. 中世		//		→		○			
	11. 近世1		//	→	○					
	12. 近世2		//			→		○		
	13. 近現代1		//	→	○					
	14. 近現代2		//		→		○			

現行計画（変更前）

年度	西暦	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
元号		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
市制施行		91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101
総合計画												
市長任期												
市議会議員任期												
					国勢調査			スポーツ祭東京		国勢調査	- 明治150年 - 郷土資料館開設50周年 - 京王高尾線開通50周年	
市史編さん審議会												
市史編集委員会												
刊行計画	原始古代部会				資料編刊行			本編刊行				
	中世部会						資料編刊行		本編刊行			
	近世部会					資料編1刊行		資料編2刊行		本編(下)刊行		
					市史叢書①			市史叢書③		市史叢書⑦		
	近現代部会				資料編1刊行		資料編2刊行			本編(上)刊行	本編(下)刊行	
									市史叢書⑤		市史叢書⑩	
	自然部会						本編刊行			市史叢書⑧		
	民俗部会						市史叢書②	市史叢書④	市史叢書⑥	市史叢書⑨	本編刊行	
						調査報告書②	調査報告書①	調査報告書③	調査報告書④	調査報告書⑤		
	市史研究				市史研究①	市史研究②	市史研究③	市史研究④	市史研究⑤	市史研究⑥	市史研究⑦	

計画変更後

年度	西暦	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
	元号	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
市制施行		91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101
総合計画												
市長任期												
市議会議員任期												
					国勢調査			スポーツ祭東京		国勢調査	・明治150年 ・郷土資料館開設50周年 ・京王高尾線開通50周年	
市史編さん審議会												
市史編集委員会												
刊行計画	原始古代部会				資料編刊行			資料編刊行	本編刊行			
	中世部会							資料編刊行		本編刊行		
	近世部会					資料編1刊行		資料編2刊行		本編(上)刊行	本編(下)刊行	
	近現代部会				市史叢書①	資料編1刊行		市史叢書③		市史叢書⑦		
						資料編2刊行						
									市史叢書⑤		市史叢書⑩	
	自然部会							本編刊行		市史叢書⑧		
	民俗部会						市史叢書②	市史叢書④	市史叢書⑥	市史叢書⑨	本編刊行	
						調査報告書②	調査報告書①	調査報告書③	調査報告書④	調査報告書⑤		
	市史研究				市史研究①	市史研究②	市史研究③	市史研究④	市史研究⑤	市史研究⑥	市史研究⑦	

『新八王子市史』刊行実施要領（案）

施行：平成 23 年 8 月 日

1. 趣旨

「市史編さん基本構想」（平成 21 年 12 月決定）における「市史」本編 8 冊、資料編 6 冊の全 14 冊の刊行にあたり、全体の統一を図るうえで必要な事項を定める。

2. タイトル

各巻のタイトルは以下のとおりとする。

資料編：	『新八王子市史』	資料編 第 1 巻	原始・古代
	『新八王子市史』	資料編 第 2 巻	中世
	『新八王子市史』	資料編 第 3 巻	近世 1
	『新八王子市史』	資料編 第 4 巻	近世 2
	『新八王子市史』	資料編 第 5 巻	近現代 1
	『新八王子市史』	資料編 第 6 巻	近現代 2
本 編：	『新八王子市史』	通史編 第 1 巻	原始・古代
	『新八王子市史』	通史編 第 2 巻	中世
	『新八王子市史』	通史編 第 3 巻	近世（上）
	『新八王子市史』	通史編 第 4 巻	近世（下）
	『新八王子市史』	通史編 第 5 巻	近現代（上）
	『新八王子市史』	通史編 第 6 巻	近現代（下）
	『新八王子市史』	自然編	
	『新八王子市史』	民俗編	

3. 発行部数及び販売価格

(1) 刊行部数

資料編 1, 200～1, 500 部、通史編 1, 500～2, 000 部を基本に、DVD など紙以外での刊行分を含め、別に各巻ごとに決定する。

(2) 無償配付部数

各巻とも 700 部以内を基本とする。配付先は別に各巻ごとに決定する。

(3) 販売価格

印刷製本実費相当額を基本に、別に各巻ごとに決定する。

4. 基本仕様及び基本構成

別表のとおりとする。

5. 編集体制の概要

(1) 各巻の内容

各巻の構成及び掲載する原稿、資料、図版、参考資料等は、編集委員会の意見を尊重し、当該巻を担当する編集専門部会の部会会議での検討と、市史編さん室との調整を経て、当該巻を担当する部会長が「八王子市史編さん基本構想」「八王子市史編集方針」に基づき、学術的観点から監修する。

(2) 編集の実務

各巻刊行に伴う業者との交渉や出稿原稿の調製などの編集に係る実務は、編集専門部会との調整に基づき、市史編さん室において行う。

その際市史編さん室は、執筆者から提出された原稿について、執筆要項に基づく文字校正を行うとともに、以下の観点から確認を行い、必要があると認めたときは、修正等を求めるなど当該巻担当編集専門部会の部会長との調整を行う。

- ① 人権・個人情報保護の観点
- ② 公共の刊行物としての公平性・公正性の観点
- ③ その他、関係者や地域社会に及ぼす影響に配慮する観点

6. 執筆料

本文執筆者に支払う執筆謝金の算定基準は、出稿原稿本文1字あたり6円とする。

『新八王子市史』刊行実施要領(案) 別表

			資料編				本編					
			原始古代	中世	近世	近現代	通史編				民俗編	自然編
							原始古代	中世	近世	近現代		
部数		部数 (うち有償分)	1, 200～1, 500部 (500～800部)				1, 500～2, 000部 (800～1, 300部)					
基本仕様	印刷	判型	A 4 判	A 5 判			A 5 判			(別途決定)	(別途決定)	
		本文 ページ数	850ページ	1,000ページ			800ページ					
		印刷	4 色刷	1 色刷			1 色刷					
		文字組み	横組・2 段	縦組・2 段			縦組・1 段					
	装丁	表紙	加工クロス					加工クロス				
		背表紙	タイトル金箔押し					タイトル金箔押し				
基本構成	巻頭			口絵 カラー8ページ			口絵 カラー8ページ					
			刊行にあたって（市長）					刊行にあたって（市長）				
			目次	総目次			目次					
				細目次（掲載資料名を掲出）								
			凡例					凡例				
	巻末		史資料提供者・協力者・協力機関一覧					史資料提供者・協力者・協力機関一覧				
			執筆者一覧（執筆・編集分担）					執筆者一覧（執筆・編集分担）				
			市史編さん関係者一覧					市史編さん関係者一覧				
			市史編さん審議会委員					市史編さん審議会委員				
			市史編集委員会委員					市史編集委員会委員				
			担当専門部会委員					担当専門部会委員				
事務局					事務局							
あとがき					あとがき							
附属参考資料					附属参考資料							
時代区分・分野の特性に応じて各巻ごとに決定					基本文献・参考文献一覧を掲載。 その他は時代区分・分野の特性に応じて各巻ごとに決定							

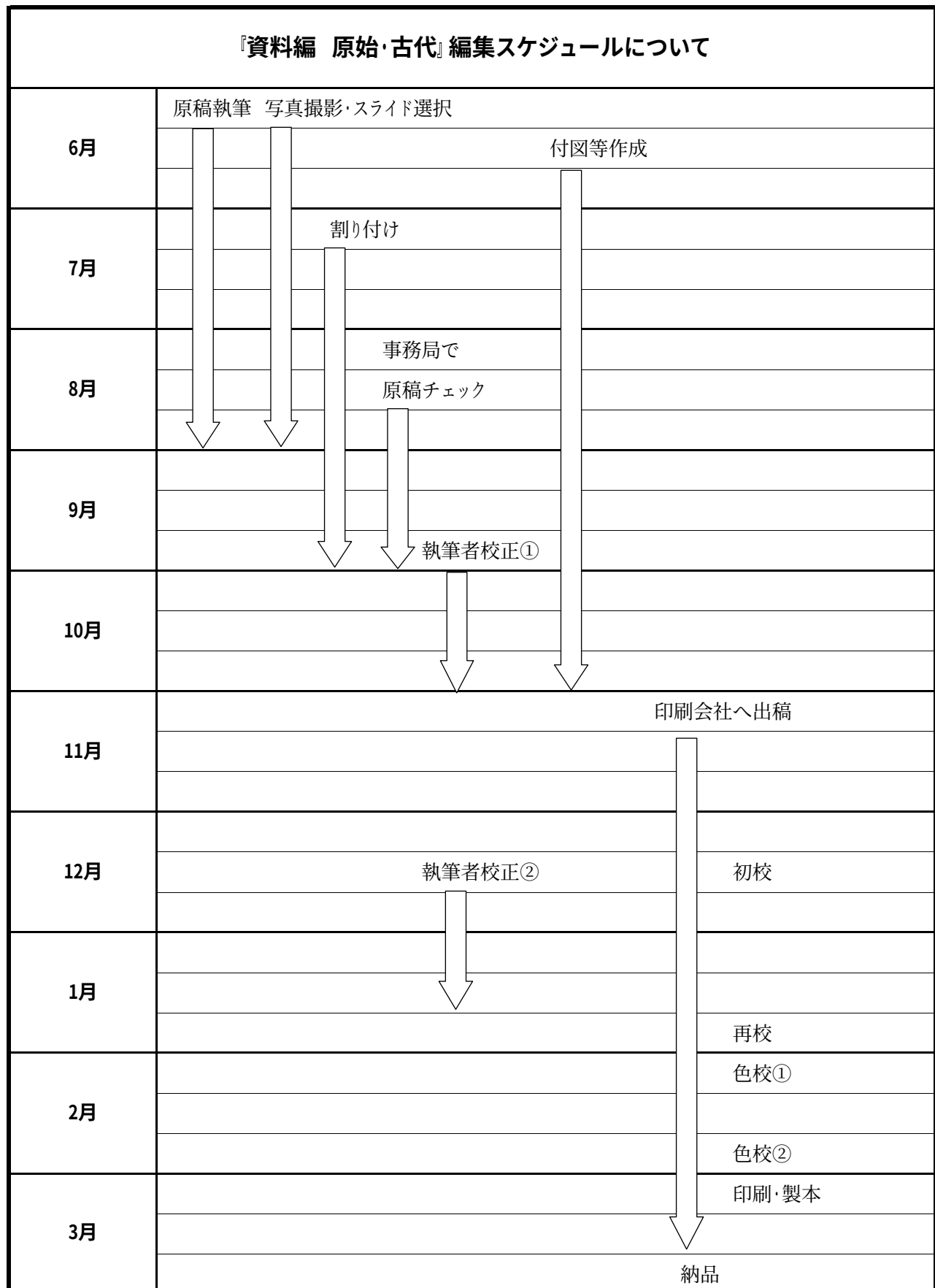
『資料編 原始・古代』仕様・構成案

1. 仕様

タイトル	『新八王子市史』 資料編 1 原始・古代
判型	A 4 判縦
発行部数	1, 5 0 0 冊
本文ページ数	約 8 5 0 ページ
製本	上製本、表紙は加工クロス貼り、背表紙タイトル金箔押し
カバー	片面カラー印刷
文字組み	横組22字×32行×2段
付図	八王子市遺跡配置図（25,000分の1～30,000分の1） 両面カラー印刷 表面 市域全体図 裏面 多摩ニュータウン地区（拡大図） 付図袋に入れて本編裏表紙内側に貼付

2. 内容

巻頭		刊行にあたって（市長） 目次 凡例
本文	概説 （概要）	1. 序文（部会長） 2. 時代区分と流域設定について 3. 八王子市内の遺跡概要 ①旧石器時代 ②縄文時代 ③弥生時代 ④古墳時代 ⑤奈良・平安時代
	遺跡紹介	河川の流域に見る遺跡群 ①谷地川・多摩川流域（延べ32遺跡） ②川口川・浅川流域（延べ44遺跡） ③湯殿川・山田川流域（延べ36遺跡） ④大栗川流域（延べ58遺跡） ※ ①～④の末尾にコラムを掲載（4本）
	資料	1. 古代文字資料について 2. 八王子の考古学史 3. 古環境復元補助資料 4. 保存公開遺跡の案内 5. 考古学関係文献一覧 6. 市内所在遺跡一覧
巻末		資料提供者・協力者・協力機関一覧 執筆者一覧 市史編さん関係者一覧 あとがき（事務局）



『資料編 近現代1』仕様・構成案

1. 仕様

タイトル	『新八王子市史』 資料編 5 近現代 1
判型	A 5 判縦
発行部数	1, 5 0 0 冊
本文ページ数	約 1, 0 0 0 ページ
製本	上製本、表紙は加工クロス貼り、背表紙タイトル金箔押し
カバー	片面カラー印刷
文字組み	縦組 25 字×18 行×2 段（資料部分）、50 字×18 行×1 段（解説部分）

2. 内容

巻頭	口絵 刊行にあたって（市長） 目次 細目次 凡例
本文 （資料）	総説（部会長） 第 1 章 明治前期の八王子 解 説 第 1 節 明治初期の村政 第 2 節 明治初期の社会 第 3 節 明治初期の教育 第 2 章 明治中後期の八王子 解 説 I 明治中期の八王子町 第 1 節 明治中期の町政 第 2 節 明治中期の社会 第 3 節 明治中期の教育 II 明治後期の八王子町 第 1 節 明治後期の町政 第 2 節 明治後期の社会 第 3 節 明治後期の教育 第 4 節 日露戦争と町の社会 III 明治中期の村 第 1 節 町村制下の村政 第 2 節 明治中期の社会 第 3 節 明治中期の教育 第 4 節 日清戦争下の村 IV 明治後期の村 第 1 節 明治後期の村政・地方改良運動の展開 第 2 節 明治後期の社会 第 3 節 明治後期の教育・社会団体 第 4 節 日露戦争と村の社会 第 5 節 国家と地方社会 第 3 章 大正期の八王子 解 説 I 大正期の八王子町・市 第 1 節 大正期の町政・市政 第 2 節 大正期の社会 第 3 節 大正期の教育

本文 (資料)	- II 大正期の村 - 第1節 大正期の村政 - 第2節 大正期の社会 - 第3節 大正期の教育・社会教育 - 第4節 第一次世界大戦前後の地方社会 - 第4章 - 解 説 - I 昭和戦前期の八王子 - 第1節 昭和戦前期の市政 - 第2節 昭和戦前期の社会 - 第3節 昭和戦前期の教育 - II 昭和戦前期の町村 - 第1節 「昭和」のはじまり - 第2節 昭和戦前期の町村政 - 第3節 昭和戦前期の社会 1・社会問題と諸団体 - 第4節 昭和戦前期の社会 2・経済不況と村々 - 第5節 昭和戦前期の教育 - 第5章 戦時下の八王子 - 解 説 - 第1節 日中戦争の開始 - 第2節 国家総動員体制の確立 - 第3節 防空体制の整備 - 第4節 産業の転換と1940年体制の形成 - 第5節 日米関係と市民 - 第6節 戦争末期の状況 - 第6章 戦後復興期の八王子 - 解 説 - 第1節 敗戦直後の状況 - 第2章 戦後改革の開始と展開 - 第3節 復興政策と戦後生活の状況 - 第4節 市制の展開と占領政策の終了 - 第7章 昭和の大合併と八王子市の出発 - 解 説 - 第1節 南多摩郡「6か村」の編入 - 第2節 南多摩郡浅川町の編入 - 第3節 南多摩郡由木村の編入 - 第4節 神奈川県相模湖町との合併協議について
巻末	- 資料提供者・協力者・協力機関一覧 - 執筆者一覧 - 市史編さん関係者一覧 - あとがき（事務局）

I 明治中期の八王子町

第一節 明治中期の町政

第一項 町財政紊乱問題

21 町財政紊乱問題に関する行政視察報告

明治三十四（一九〇二）年一月

明治三十四年一月十日南多摩郡八王子町行政事務視察トシテ出張候処、同午後四時同町々会議員協議会ニ際会シタルヲ以テ該会ニ臨席シタルニ、別紙第一号表ニ就キ協議ヲ遂ケタル其状況左ノ如シ

町会議員惣数 二十九名

出席議員 十九名別ニ町公民田沼久吉

午後三時協議会ヲ開ク

一 町会議員ニ宮帰作ハ追加予算ノ不当ニシテ協議スヘ

キ価値ナキノミナラズ、之ヲ町会ニ付セントスルモ全然反対スヘシ、殊ニ追加臨時費中第三款中第四項第三款中第一項第二第八及第七款全部ハ違法不当ノモノニシテ、例令協議会カ協賛シ町会カ之ヲ議決スト雖トモ、帰作一己トシテ承服シ能ハサルモノニシテ、太平前町長ノ罪ヲ鼓サントノ意見ヲ樓述セリ、松井寅太郎ハ該予算追加ノ不当ナルハ云フ迄モナシ、然レトモ論議スル前ニ当ツテ監督官庁ハ之ヲ聴許スルヤ否ヤヲ確メ置カントセリ

於是小官ハ該追加予算ハ未タ呈出セラレサルモノニシテ、詳密ニ審査シタルモノニアラスシテ、本日始メテ一閱スルヲ以テ果シテ適當ナルモノナルヤヲ調査スルニタモ少時ノ遑アラサルナリ、然レトモ本年二月行政視察ノ為メ、小官出張調査シタル処ニ捩レハ、金額等ニ於テ多少符合ヲ認ムルモノアリト雖トモ、第七款ニ於テ全然不当ナルニハナキヤノ感ナキ能ハサルモノアリ

甲論乙駁停止スル処ヲ知ラサルモノ、如シ、町長ハ發

言スラク、勿論該予算カ今日ニ議決スヘカラサルモノ

ニシテ、業已ニ事業ヲ終了シタルモノアリテ違法ナリ

トスルモノ尠ナシトセス、然レトモ町カ今茲ニ此案ヲ

提出セントスルモノニ至リタルハ、財務ノ整理ヲ期シ

町ノ利益ヲ謀ラントスルニ外ナラス、願クハ追次協議

アランヲ希望スト

歳入第三款第四款第七款全部協賛ノ状況

歳出第三款第五款第六款全部協賛ノ状況

同第七款全部否認ノ状況

於是町長ハ本日提出シタル予算案ハ事後ニ属スルヲ以テ、該件ノ果シテ正当ナルヤ否ヤハ、現ニ町会ニ於テ選出セラレタル財務調査委員ニ於テ調査中ニ係ルヲ以テ、是カ結果ト同時ニ今度開会スヘキ町会ニ提出スヘシトセリ、但調査委員ニ付セル調査書ハ第甲号表ノ如シ

午後六時協議会ヲ閉ツ

原八王子町長ニ就キ調査シタルモノ

一 第七款雜支出千二百五拾八円二十一錢ハ、町会議員協議会ニ於テ否認シタル以上ハ各自応分ノ寄付ヲナシ、

之カ結了ヲ見ルヘキニ付町公会ニハ提出セズト

一 太平前町長ハ左ノ如ク引継ヲサントシツ、アルモ未タ結了ニ至ラズ

一 金六、〇一三、八六〇 第一号予算残余

是ハ三十三年度追加予算表ニ示セル歳出ノ部

八、七九八、〇六五ノ内歳入（二、七八四、二〇五）

ヲ差引キ現金ト見做シタルモノナリ

二 金二、一七八、〇〇〇 現金

内 一、六一九、一八八 火災義捐金残余

五五八、八一二 修道公債残余

以上ノ計算ヲ三十三年二月十日村崎属・平井属ノ調査シタルモノニ比スレハ一、〇五三、九〇七ノ不足トナレルハ、同調査期ヨリ同年九月末日マテニ於ケル百般ノ出納上差述ヲ生シタルモノナリ

但此計算ハ二月十日提供シタル現金四、四九〇、一一七ノ内予算表ノ雜支出一、二五八、二一〇及現ニ提出セントシツ、アル二、一七八、〇〇〇ヲ差引タルモノナリ

一 町会ノ議決ニ依リ八王子町財政整理委員九名□□□
 □ヲ挙ケ、別紙乙号精算ノ調査ヲナシツ、アルモ未タ
 結了ニ至ラスト、其委員ノ重ナルハ平林九兵衛・鈴木
 信太郎・加藤源三・松井某・梅原某・朝倉某外三名
 原八王子町長ノ私談

一 予算二掲上シアル雜支出金一、二五八、二一〇ハ予
 算ヨリ削減セルトキハ、無論議員中ニテ寄付其他ノ名
 義ヲ以テ出金セシムヘキ見込ナリト

一 太平前町長ヨリ提出スヘキ現金二、一七八、〇〇〇
 ノ内五五八、八一二、ハ太平前町長所有田地ヲ売却シ、
 又右ノ内一、六一九、一八八、ハ家屋宅及宅地ヲ銀行
 担保トシテ提供シ、銀行ハ右担保品ニ抛リ貸出シ、更
 ニ町公金トシテ保管スル見込ナリト

但八王子町ハ義捐金ノ残余ナルヲ以テ、太平町長カ弁
 償シ了ルマテ銀行ニ預ケ置クモノトセリ、蓋シ前町長
 ハ右ニ抛リ無利子又ハ非常ノ低利ヲ以テ支払了ルノ画
 策ナリト

一 太平前町長ヲシテ引継クヘキ金額一転シテ負債ノ支

仍ルモノアラン、今ニシテ熱誠其整理ヲ謀ルニ非ラサレ
 ハ、紊乱ニ紊乱ヲ加フルノ苦境ニ立至ランモ亦知ル可ラ
 スト雖トモ、現任町長ハ辞職ノ意アリ、果シテ之カ整理
 ヲ了シ得ルヤハ甚憂慮ニ堪サルモノナシトセズ
 右及復命候也

明治三十四年一月 日 内務部第一課属 村崎常義印

東京府知事男爵 千家尊福殿

〔文書類纂 文書第23類 事務報告〕 624 A3―26 東京都公文書館所蔵文書

22 町財政紊乱問題の解決を報ずる町村巡視報告

明治三十五（一九〇二）年

八王子町ハ昨年二月改修道路委員トシテ其事務ニ當リ居
 リシモノ不正ノ行為アリトシテ其筋ヘ告発シタルモノア
 リテ四五ノ拘禁者ヲ出セリ、尋テ町役場ニ於テハ町会ノ
 議決ヲ以テ委員ヲ定メ財政査覈ヲ為シ大ニ從來紊乱セル
 財務ヲシテ整理ノ緒ニ付キ一面ニハ拘禁者中町会議員タ
 ルモノハ其職ヲ退クカ如キ一時動揺穩カナラサルモノア

払ヲナサシメンカ為メ、織物会社役員（二十五円）ニ
 原新町長ハ斡旋ヲナセリ

一 太平前町長ハ他所家屋ヲ売却又ハ担保トスル件ニ付
 テハ、前項ノ如キ事情アルアリテ疾クニ提出スヘキ筈
 ナルモ、地所家屋ハ忤ノ名義ニシテ忤ハ不承諾ヲ唱ヘ
 居レリ、然レトモ今日ニモ談示スル所アレバ、親子ノ
 間柄トテ拒絶シ得ヘカラスト、原新町長ハ冷淡ニ無雜
 作ニ言ヒ放テリ

一 八王子町道路改修ノ為メ買収シタル土地ノ価格ハ、
 当初予定シアラサルヲ以テ、其買収方法ハ修道委員ヲ
 設ケ買収シタルモノニシテ、其価区々殆ント抛ル所ヲ
 知ラサルモノ、如ク、例セハ一ハ壹坪四円又一ハ八円
 而シテ其価ニ多少ノ等差アルハ当然ナリト雖モ、其实
 ハ六円ヲ以テ買収シナガラ十円ノ領収証ヲ呈シタルノ
 懸念ナシトセサルモノアリ

上来ノ如ク、八王子財政ノ紊乱ハ一朝一夕ノ事ニアラズ
 シテ、前町長在職中八ヶ年ニ起因シタルモノアリテ、其
 間大火災ノ後ヲ承ケ其整頓亦容易ナラサルモノアリシニ

リシモ同年八月町会議員九名ノ補欠選挙ヲ為シ、其結果
 却テ町会ノ團結ヲ円満ニシ又財政上疑團氷解スルモノア
 ルアリテ一段落ヲ告テ此間ニ於テ町長其他吏員交迭等ア
 リシモ結局大紛擾ニ至ラスシテ平定シ今日ニ在ツテハ組
 織ヲ強固ニシ至テ無事平穩ニ帰セリ

〔文書類纂 文書第35類 事務報告 明治三十五年〕 625 B2―28・
 東京都公文書館所蔵文書

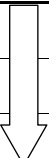
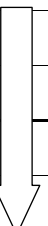
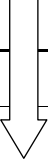
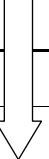
第二節 明治中期の社会

第一項 新万火事・八王子大火と町の改造

23 南多摩郡八王子町失火ニ付状況上申

明治二十六（一八九三）年八月

南多摩郡八王子町失火ニ付状況上申
 内務大臣殿 知事
 一昨六日午後第四時、管下南多摩郡八王子町大字横山六

『資料編 近現代1』編集スケジュールについて		
6月	資料選択	
		
	資料原稿編集	
7月		
8月	原典校正① 解説執筆 割り付け	
		
9月		
	原典校正②	
		
10月		
	解説校正①	
		
11月		
		
	印刷会社へ出稿	
12月		
	資料校正 解説校正②	
		
1月		
		
2月		
3月		
	納品	

『村明細帳集成』仕様・構成案

1. 仕様

タイトル	八王子市史叢書 1 『村明細帳集成』（仮）
判型	A 5 判縦
発行部数	1, 500 冊（仮）
本文ページ数	約 500 ページ
製本	無線綴じ、見返し貼り、レザック表紙
カバー	なし
文字組み	縦組 25 字×18 行×2 段（史料部分）、50 字×18 行×1 段（解説部分）

2. 内容

巻頭	口絵 序文 目次 凡例
本文	1. 解説 2. 史料（総数95点） （1）八王子市全域 （2）八王子宿関係村明細帳 （3）小宮関係村明細帳 （4）横山関係村明細帳 （5）恩方関係村明細帳 （6）川口関係村明細帳 （7）加住関係村明細帳 （8）由井関係村明細帳 （9）浅川関係村明細帳 （10）由木関係村明細帳
巻末	資料提供者・協力者・協力機関一覧 市史編さん関係者一覧 あとがき（事務局）

二、八王子宿関係

5 (二七一五)
正徳五年八月 八王子横山村明細帳
(表紙)

正徳五年未八月書上

武蔵国多摩郡八王子横山村明細帳

畑五十六町九反七畝壹歩

此記

盛八ツ

上畑式十五町三反四畝十九歩

分米式百式石七斗壹合

盛六ツ

中畑十九町式反四畝十壹歩

分米百十五石四斗六升式合

盛四ツ

下畑八町九反八畝式十壹歩

分米三十五石九斗四升八合

三ツ

下々畑三反式畝十歩

分米九斗七升

盛三ツ

林畑三町七畝歩

分米九石式斗壹升

盛十

武州多摩郡

横山村高辻

一高八百五拾五石式斗壹升

此反別百六町五畝十六歩

屋鋪十壹町四反十八歩者

横山宿
御伝馬町
両宿分
八日市宿

同屋鋪三十七町六反四畝十七歩者

村高ノ内拾三ヶ所分

屋鋪十壹町四反三畝式十八歩

横山宿
八日市宿 分

分米百十四石三斗九升三合

盛十

屋鋪三十七町六反四畝十七歩

残十三ヶ所分

分米三百七十六石四斗五升七合

小以分米合八百五拾五石式斗壹升

外ニ

一畑八畝歩

見取場

一御口永壹貫文ニ永三十文ツ、

一御水帳五冊 横山宿名主長兵衛親與惣兵衛所持仕候、

是者四十九年以前

深谷喜右衛門様御檢地被遊候、

一御水帳式冊 同断

是者式十年前元禄九子年

設楽勘左衛門様・平岡三郎右衛門様御檢地被遊候、

但、御代官様方御領地ノ分御年貢地ニ罷成申候、

一名寄元帳、横山宿・八日市宿町附リ十三ヶ所共、銘々

名主所持仕候、御割付ノ儀者横山・八日市ニテ隔年ニ

右御高札之面御伝馬宿ヨリ馬継之場所

西者 信州甲州海道

駒木野迄 式里

東者 江戸海道

小仏迄 式里

北者 上州日光通り

日野宿迄 式里

南者 相州通り

相原迄 式里

八王子御伝馬宿定助十二ヶ村

本横山村 本郷村 大和田村 子安村

北野村 小引村 新横山村 中野村

奈良原村 尾崎村 梅坪村 片倉村
同 大助式十式ヶ村
長沼村 大船村 大沢村 瀧高月
鍵水村 両丹木村 谷ノ村 大谷村
小山村 宮ノ下村 宮下村 宇津木村
犬目村 相原村 佐入村 戸吹村
宇津貫村 戸所村 中山村 高月村
八日市村 打越村
一八王子町市日六齊 四日 十四日 廿四日 横山宿
八日 十八日 廿八日 八日市宿
但
市日絹・紬・袴嶋・糸・綿・小間物・麻・繰綿・木
綿・布・穀物・肴・塩・茶・たはこ・竹・長木・薪
炭
右之品売買ノ金高如何程ニ可有之哉難計候、
一薪・竹・長木、場所ニテ売買可仕御高札五枚、
横町 八幡宿 八木宿 嶋坊宿 横山宿
右者、横山宿ノ内四日場ニテ売買可仕ノ御文言、

一当村かいこ子飼仕候、
一江戸日本橋迄道法拾弍里
但シ日野 府中 布田 高井戸 内藤新宿通り申候、
一当村ヨリ小田原御城下迄十六里
但 相原 當麻 座間 厚木 大磯宿通り申候、
一当村ヨリ川越御城下迄九里
但 拝島 箱根ヶ崎 二本木 扇町屋 入間川 大
袋新田通り申候、
一当村上中下畑・屋敷、共ニ土め黒土ニテ御座候、
一上畑壹反ニ付 代金六両位ヨリ七両迄
一中畑壹反ニ付 代金四両位ヨリ五両迄
一下畑壹反ニ付 代金三両位ヨリ四両迄
一町屋舗壹反ニ付 横山宿 所ニヨリ十五六
八日市宿 両位ヨリ廿四五両迄
一脇屋舗壹反ニ付 代金九両位ヨリ十両迄
一畑方種、壹反ニ付大麦壹斗七八升ヨリ式斗三四升迄蒔
申候、
一畑方こやしハ、干鰯・荏糟・小ぬか遣ヒ申候、

但シ壹反ニ付入用金式分程ツ、掛り申候、
一名主江戸之御用ニ付罷越の節、逗留ノ内一日一夜ニ雜
用百二十四文ツ、小百姓共百文ツ、ニ相定置申候、
一男者耕作ノ間沓草鞋作り、六才ノ市日時々ノもの商売
致来リ申候、

三百八十五軒 水 吞
四軒 裏 屋
惣人別合三千八百八十人 男
式千五十人 女
千八百三十人

一女者常ニ芋機のかせき致申候、
一当村ノ義居屋舗斗ニテ、田畑少々御座候、在近村ニ名
田畑所持仕、式千石余出作仕候、御年貢・諸入用ノ外
高百石ニ付永五貫文ツ、出シ申候故、作徳無御座難儀
仕候、

千人御組同心 百十六人
諸色商売人 百九十四人
医師 十一人
大工 十一人
鍛冶 三人
金物細工 二人
宮造リ 壹人
神子 貳人
座頭 貳人
馬医 壹軒
山伏 貳十六軒

一御陳屋舗、村高ノ内五反十九歩御除地ニテ御座候、
壹反四畝十歩 郷藏屋舗
内 壹反十五歩 牢 屋舗
貳反五畝貳十四歩 御陣屋舗
惣家数合九百四十六軒
四百八十九軒 本百姓
十三軒 地 借
五十五軒 店 借

醍醐三寶院御門跡当山方 圓法院支配

『村明細帳集成』編集スケジュールについて		
6月	史料部分割り付け	
7月	解説等執筆・修正	
	原典校正	
8月		
	史料部分修正・全体割り付け	
9月		
	印刷会社へ出稿	
10月		
	初校	
11月		
	再校	
	色校	
12月		
	印刷・製本	
	納品	
1月		
2月		
3月		

『恩方地区民俗調査報告書』仕様・構成案

1. 仕様

タイトル	八王子市史叢書 2 『恩方地区民俗調査報告書』（仮）
判型	A 4 判縦
発行部数	1, 5 0 0 冊（仮）
本文ページ数	約 1 5 0 ページ
製本	無線綴じ、見返し貼り、レザック表紙
カバー	なし
文字組み	縦組 34 字×27 行×2 段

2. 内容

巻頭	口絵 序文 目次 凡例
本文	第 1 章 総説 第 2 章 社会組織 第 3 章 生産・生業、環境と暮らし 第 4 章 寺社信仰、民間信仰 第 5 章 年中行事 第 6 章 人生儀礼 第 7 章 口承文芸、民俗芸能
巻末	参考文献一覧 索引 資料提供者・協力者・協力機関一覧 市史編さん関係者一覧 あとがき（事務局）

『恩方地区民俗調査報告書』編集スケジュールについて		
6月	原稿執筆	
7月		
	原稿チェック・編集	
8月		
9月		
	執筆者校正①	
10月		
11月		
	執筆者校正②	
12月		
	索引作成	
12月		
	印刷会社へ出稿	
1月		
		初校
2月		
		印刷・製本
3月		